

広報あびこ

NO. 61

35. 4. 1 号

千葉県我孫子町役場
TEL (あびこ) 42

毎月1日16日発行 一部2F
昭和34年7月30日 第三種郵便物認

—目次—

新町建設十ヶ年の 部門別重点施策	2
はえと蚊のいない 町をつくりましょう	3
汲取手数料の改正	3
各学校の入学式	3
旧軍人、軍属と その遺族の方へ	3
春の防犯	4
予防接種	4



有畜農家の創設え

(利根の放牧)

広 報 あ び こ

(2)

新町建設十ヶ年の 部門別重点施策

一、人口、雇用、所得計画
(イ)本計画終了時に人口四万人とし、第一次産業の就業人口を増加させず就業人口の増加は第二次第三次産業で吸収するため立地条件の整備と工場誘致等の第二次産業発展策を重点的におしよめる。
(ロ)工場誘致及び現存産業の生産性向上を図り生産所得を二倍、町民一人当り個人所得を一・五倍以上に引き上げるため特に重点投資のできるよう計画をすゝめる。

二、農産生産
農林省手賀沼干拓土地改良事業及び団体営による土地改良事業を推進し交換分合事業も実施して農業の基本的な土地条件の整備を完全に実施する。
本町は通勤都市的性格が強くなる農地の転用が激増し経営規模も狭小となるので土地利用の高度化を図ると同時に畜産園芸等と有機的な関係を保つよう経営の改善を行い米麦の増収を図る。また畑地かんがい施設を設置して慣行栽培方式を改め水田の裏作計画と併せ樹立し適産野菜栽培を奨励する。

三、商工振興計画
(イ)商業振興計画
我孫子町商工連合会並びに商業関係諸団体と協力し健全な商業構造を確立し商店街の美化整備店舗配列の再検討を行い町内外を購買力の吸引につとめる。
村落地区の商業の問題は地域自治体の消費に対応するための必要な体制をすゝめる。
なお中小企業金融についても保証制度を拡充強化するため中小企業資金融資預託制度を活用し万全を期する。
(ロ)工業振興計画
既存工業の振興を図り工業立地の整備を行い工場誘致を積極的に行う。
四、組合市場振興計画
農協の強化を図り野菜園芸酪農生産物等の団体取引を促進する。
また組合意識を高揚し組合強化の基礎を確立するとともに組合基本財産の造成につとめ事業を近代化し財政を確立する。
五、観光振興計画
手賀沼の観光開発は手賀沼周辺の風致美の保存保護につとめるとともにこれらの風物を活用したレクリエーション施設に主眼を置き各施設は安全快適でかつ近代的感覚の溢れたものでなければならぬ。したがってこれらの事業計画をもった観光協会を積極的に誘致し、健康的にして文化的でかつ大衆的な保養を兼ねた観光地を育成する。

六、交通運輸通信施設整備計画
都市計画に基づいて主要街道の整備を行い県道の路巾拡張並びに舗装整備を推進する。主要幹線街道の路巾拡張側溝工事等を積極的に行い完全舗装化につとめる。
交通条件を改善するため県道船橋取手線の整備を促進しバス路線の新設を図る。
国鉄成田線の電化を促進し首都外きよう環状鉄道武蔵野線の新設を促進し、旅客貨物の輸送力の改善を図る。未端連絡の不便を解消するため無電話部落の公衆電話の設置を図り電話加入区域と郵便局等の統一を促進する。

七、都市計画
市街地を計画的に発展させるため住居の各用途に合った都市計画による地域地区計画を完全に実施する。
八、教育文化厚生計画
現在ある幼児教育施設を指導助長し、内容整備につとめると同時に幼児教育施設の増設を図る。
中学校の統合整備については統合整備の構想を慎重に考慮する。
公民館図書館を新設して社会教育施設の整備充実を期する。
公営住宅二五〇戸、公園公庫住宅三五〇戸その他一、〇〇〇戸、計三、六〇〇戸の住宅を建設し住宅不足の緩和を図る。
保育所児童遊園地児童文庫を設置し児童福祉施設の整備充実を図る。
母子りよう授産所を設置し母子福祉施設の充実を図る。また将来養老施設老人ホームを設置して老令者の援護を図る。
じんかい処理場及び尿処理場の整備増強を図り環境衛生の向上を図る。
国民健康保険事業の充実を図るため総合的医療センターを建設する。
九、行財政計画
新町の一体制確保のため支所の統廃合を実施する。新町舎を建設して環境の整備と事務処理方式の改善を図る。
非常勤分団の圧縮を行い常備消防を新設し、消防力の強化と災害防除に万全を期する。
住民の町政に対する要求を把握するためPR機構を充実する。
行政諸経費を節約して町民所得の向上と相俟つて町財政を確立してこの建設計画への投資の財源を確保する。

推 計 人 口

区 分	人 口 数	増 減	備 考
(A) 昭和34年 (基準年)	26,307		
(B) 昭和43年 (計画年)	40,000	増	
(B) - (A)	13,693	増	
人 口 動 態	比 率	増 減	
自然の人口動態	0.85	増	毎年平均自然人口動態340人、社会人口動態1,029人の増で合計1,369人の増加が見込まれる。自然人口動態の増加は、観光施設の充実、工場等の立地等による人口の増加と共に生産人口の増加が見込まれる。
社会的人口動態	2.57	増	

町 の 人 口	
(35年3月1日)	
人口	27,004人
男女別	男 13,218人 女 13,786人
世帯数	5,500世帯

